

平成31年度入学

入 学 者 選 拔 要 項



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

目 次

インターネット出願への全面移行について	1
学外試験場について	1
I 宮城大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）	2
II 入学者選抜の概要	
1 入学定員と募集人員	6
2 選抜日程等	6
3 選抜方法の概要	7
4 試験会場	8
5 学類配属について	9
6 入学資格審査	9
III 一般選抜方法	10
IV 特別選抜方法	
1 アドミッション・オフィス入試（AO 入試）	14
2 推薦入試	15
3 帰国子女入試	17
4 社会人入試	18
5 外国人留学生入試	19
V 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談	20
VI 大学案内の請求方法	21
VII 各キャンパスの交通案内	23

インターネット出願への全面移行について

(1) 概要

宮城大学は、平成 31 年度入試（平成 30 年度実施）から、出願方法をインターネット出願に全面移行します。全ての学群入試において、出願手続きや写真のアップロード、受験票印刷までをインターネット上で行っていただきます。

インターネット出願の詳細は、7 月頃に本学ウェブサイトにてご案内します。

(2) 注意事項

インターネット出願の開始により、従来の紙の願書等での出願を廃止し、募集要項の冊子での配布も停止します。募集要項については、本学ウェブサイトで順次公表します。

学外試験場について

(1) 概要

事業構想学群及び食産業学群の一般選抜前期日程については、宮城会場に加えて大宮会場においても試験を実施します。

(2) 大宮会場

会議 D o ! 大宮サポートセンター

埼玉県さいたま市大宮区 吉敷町 1 丁目 5 K 1 ビル

I 宮城大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

宮城大学

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

宮城大学は、地域社会の発展に主体的に貢献できる資質と能力を持った人間性豊かな人材育成を目指しています。このような人材は、高い人間力を備え、広く深く学び続ける力を基盤として、専門的な知識や技能を身につけ、将来にわたって地域社会の進歩に柔軟に対応し、それに貢献できる能力を備えた人材であると考えています。

【入学者に求める能力は何か】

高等学校までの「偏りなく幅広く、継続した学習」の内容をしっかりと身につけていることが望まれます。特に、本学は科学技術による実社会への貢献を目指した「実学」を理念として掲げていますので、理数科目の積極的な習得が望まれます。また、「世界に開かれた大学」という理念も掲げていますので、コミュニケーション・ツールとしての基礎的な英語力の習得が望まれます。なお、各学群のアドミッション・ポリシーを参照してください。

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

宮城大学が求める学生を選抜するため、学群・学類ごとに、一般選抜及び各種の特別選抜を実施します。なお、詳細は各学群のアドミッション・ポリシーを参照してください。

看護学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

看護学群は、生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて、科学的思考とマネジメント能力を持ち、ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し、地域の人々、多分野・異文化の人々と協働して学際的に活躍できる人材育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- (1) 人間に対する深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- (2) 人間の生命と活動に関する事象を客観的にとらえ、論理的に探求する科学的思考力
- (3) 対象者のニーズに即したケアを創造的に実践する創造的実践力
- (4) 人と組織の中で、主体的にヘルスケアシステムを形成する基礎的なマネジメント能力
- (5) 関連分野と協働し、国内外の保健医療福祉の課題に貢献できる基礎的な学際性・国際性

【入学者に求める能力は何か】

看護学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 人や地域社会、看護に関心を持っている人
- (2) 人の喜び、苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち、人との関係を大切にできる人
- (3) 科学的探究心を持ち、主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人
- (4) 国の内外を問わず、看護学を通して地域社会に貢献しようと思っている人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

看護学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜では、大学入試センター試験の5教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、論説（※1）、面接（※2）の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。

- (2) 推薦入試では、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類及び面接（口頭試問を含む。）（※3）によって、志望分野に必要な学力、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。なお、大学入試センター試験の5教科6科目以上で学力が本学の基準に達しているかを確認します。
- (3) AO入試では、自己推薦書、学修計画書、調査書による第1次選考、レクチャー・レクチャーレポート、グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (4) 特別選抜（帰国子女・社会人・外国人留学生）入試では、出願書類や論説、面接（口頭試問を含む。）等の試験により、学力、意欲、資質などを評価します。なお、特別選抜（外国人留学生）入試では、日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

事業構想学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

事業構想学群では、現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え、その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに、地域資源の活用や新たな価値創造を志向し、産業、行政、社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- (1) 社会の中で他者を理解し、社会の発展に主体的に貢献する自立した人間として必要な総合力
- (2) 人間や社会に関する事象を客観的にとらえ、論理的に探求する能力
- (3) 学群に共通する基礎的な知識・技術と専攻した学群の専門知識・技術
- (4) 地域社会や企業での体験や協働を通じ、自ら課題を発見し、主体的に行動する実践力
- (5) 地域や世界の歴史、文化を学ぶとともに、交流・協働を通して地域やグローバルで活動する能力

【入学者に求める能力は何か】

事業構想学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き、自ら問題を発掘し、論理的に考え、表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
- (2) 大学での勉学に対する強い意欲を持ち、高度な知識とスキルを身につけることによって地域社会に貢献することを目指す人

加えて、各学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

<事業プランニング学群>

実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち、その際に必要となる、情報・データの読解、論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

<地域創生学群>

地域社会で顕在化している諸問題を分析してその解決策を自ら考えることや、地域社会の基盤となるまちづくりや防減災に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

<価値創造デザイン学群>

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や、人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や環境をデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

事業構想学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜では、大学入試センター試験の5教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、数学、論説（※1）の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。
- (2) 推薦入試では、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類及び面接（口頭試問を含む。）（※3）によって、志望分野に必要な学力、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。なお、大学入試センター試験の5教科6科目以上で学力が本学の基準に達しているかを確認します。
- (3) AO入試では、自己推薦書、学修計画書、調査書による第1次選考、レクチャー・レクチャーレポート、グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲と資質などを評価します。
- (4) 特別選抜（帰国子女・社会人・外国人留学生）入試では、出願書類や論説、面接（口頭試問を含む。）等の試験により、学力、意欲、資質などを評価します。なお、特別選抜（外国人留学生）入試では、日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

食産業学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

食産業学群では、食資源開発及び食材生産から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い科学知識と技術を持ち、食産業全体を理解し、東北地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- (1) 食産業に関する幅広い科学的知識と技術
- (2) 地域社会から世界レベルまで様々なレベルでの食に関する課題発見力
- (3) 食に関する課題解決の実践力
- (4) 課題解決法の世界への発信力

【入学者に求める能力は何か】

食産業学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 食及び食を取り巻く環境に興味を持ち、自然科学の基礎知識を身につけている人
 - (2) 論理的思考力を持ち、食の安全・安心、環境との調和などの課題解決に情熱を傾けようとする人
 - (3) 地域社会の一員として、さらには世界的な観点から食産業を考え、その発展に貢献しようとする人
- 加えて、各学類では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

<食資源開発学類>

動・植物や微生物など、新たな食資源の開発に強い関心を持ち、幅広い科学的知識と技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

<フードマネジメント学類>

食品製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて、サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

食産業学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜では、大学入試センター試験の5教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、数学、理科の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。
- (2) 推薦入試では、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類及び面接（口頭試問を含む。）（※3）によって、志望分野に必要な学力、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。なお、大学入試センター試験の5教科6科目以上で学力が本学の基準に達しているかを確認します。
- (3) AO入試では、自己推薦書、学修計画書、調査書による第1次選考、レクチャー・レクチャーレポート、グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (4) 特別選抜（帰国子女・社会人・外国人留学生）入試では、出願書類や論説、面接（口頭試問を含む。）等の試験により、学力、意欲、資質などを評価します。なお、特別選抜（外国人留学生）入試では、日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

-
- ※1 論説では、記述式の試験により、事象を論理的に考察する力や資料をもとに科学的に読み解く力等を多角的に評価します。
- ※2 看護学群一般選抜の面接では、看護職を志す意欲、看護職の基礎的な適性である人に対する態度や社会性、コミュニケーション能力などを評価します。
- ※3 推薦入試の面接（口頭試問を含む。）では、主に以下の能力を評価します。
- ・与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力
 - ・関連する新たな課題を見出し、高等学校等での学習や自身の経験を資料等の内容と関連付けながらその解決への道筋を考察し、具体的な根拠を明示する等、説得力をもって応答できる力
 - ・高等学校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質
- ※4 AO入試の面接（口頭試問を含む。）では、主に以下の能力を評価します。
- ・与えられた事象や情報を的確に把握し、その内容を整理して、具体的な根拠を明示する等、説得力をもって応答できる力
 - ・高等学校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質

Ⅱ 入学者選抜の概要

1 入学定員と募集人員

		入学 定員	募 集 人 員						
			学群単位での入試					学類単位での入試	
			一般選抜		特別選抜			特別選抜	
			前期 日程	後期 日程	推薦 入試	帰国 子女	社会人	A O 入試	外国人 留学生
看護学群	看護学類	95	48	10	24	若干名	若干名	8	5
事業構想学群	事業プランニング学類	200	100	20	40	若干名	若干名	8	5
	地域創生学類							8	5
	価値創造デザイン学類							8	6
食産業学群	食資源開発学類	125	62	12	28	若干名	若干名	8	3
	フードマネジメント学類							8	4
計		420	210	42	92	若干名	若干名	48	28

※「帰国子女」「社会人」の若干名は、「一般選抜」の募集人員に含みます。

2 選抜日程等

種 別		出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入学手続期間
A O 入試		平成 30 年 9 月 14 日 (金) ～ 平成 30 年 9 月 21 日 (金)	平成 30 年 10 月 20 日 (土) 平成 30 年 10 月 21 日 (日)	第 1 次選考 平成 30 年 10 月 5 日 (金) 第 2 次選考 平成 30 年 11 月 2 日 (金)	平成 30 年 11 月 5 日 (月) ～ 平成 30 年 11 月 12 日 (月)
帰国子女入試		平成 30 年 11 月 5 日 (月) ～ 平成 30 年 11 月 12 日 (月)	平成 30 年 12 月 8 日 (土)	平成 30 年 12 月 20 日 (木)	平成 31 年 1 月 15 日 (火) ～ 平成 31 年 1 月 22 日 (火)
社会人入試					
外国人留学生入試				平成 31 年 1 月 10 日 (木)	
推薦入試		平成 30 年 12 月 17 日 (月) ～ 平成 30 年 12 月 21 日 (金)	平成 31 年 2 月 2 日 (土)	平成 31 年 2 月 12 日 (火)	平成 31 年 2 月 13 日 (水) ～ 平成 31 年 2 月 19 日 (火)
一般選抜	前期 日程	平成 31 年 1 月 28 日 (月) ～ 平成 31 年 2 月 6 日 (水)	<看護学群> 平成 31 年 2 月 25 日 (月) 平成 31 年 2 月 26 日 (火) <事業構想学群・食産業学群> 平成 31 年 2 月 25 日 (月)	平成 31 年 3 月 6 日 (水)	平成 31 年 3 月 7 日 (木) ～ 平成 31 年 3 月 15 日 (金)
	後期 日程		<看護学群> 平成 31 年 3 月 12 日 (火) 平成 31 年 3 月 13 日 (水) <事業構想学群・食産業学群> 平成 31 年 3 月 12 日 (火)	平成 31 年 3 月 20 日 (水)	平成 31 年 3 月 22 日 (金) ～ 平成 31 年 3 月 27 日 (水)

3 選抜方法の概要

(1) 一般選抜

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

学群名	選抜方法等	一 般 選 抜							備考 〔欠員の 補充の 方法等〕
	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 を 課 する	個別学 力 検 査 を 課 する	実技検査等			2 段階選抜			
			実 技 検 査 を 課 する	面 接 を 行 う	論 説 (※) を 課 する	主として、調査書の 内容と大学入試セ ンター試験の成績 により第1段階選 抜を行い、その合格 者について更に必 要な検査等を行う	第1段階の選抜に よる合格者数		
							定 員 に 対 する 倍 率	そ の 他	
看護学群	○	○	×	○	○	×	×	×	追加 合格
事業構想学群	○	○	×	×	○	×	×	×	
食産業学群	○	○	×	×	×	×	×	×	

※ 論説：「事象を論理的に考察する力」や「資料をもとに科学的に読み解く力」等を多角的に評価する、記述式の試験です。

(2) 推薦入試 及び 帰国子女・社会人・外国人留学生入試

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選抜方法等 学群・学類名		推 薦 入 試					帰国子女・社会人・外国人留学生等の ための特別選抜			
		大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 を 課 する	個 別 学 力 検 査 を 課 する	実 技 検 査 等			外国人 留学生	帰国子女	中国引揚 等子女	社会人
				実 技 検 査 を 課 する	面 接 (口頭 試問を含 む。)を行 う	論 説 (※) を 課 する				
看護学群 看護学類		○	×	×	○	×	○	○	×	○
事業 構想学 群	事業 プランニング学類	○	×	×	○	×	○	○	×	○
	地域創生学類						○		×	
	価値創造 デザイン学類						○		×	
食産業学群	食資源開発学類	○	×	×	○	×	○	○	×	○
	フード マネジメント学類						○		×	

※ 論説：「事象を論理的に考察する力」や「資料をもとに科学的に読み解く力」等を多角的に評価する、記述式の試験です。

(3) アドミッション・オフィス入試 (AO 入試)

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選考方法等 学群・学類名		アドミッション・オフィス入試								
		大学入試 センター 試験を課 する	個別学 力検査 を課す る	第1次選考			第2次選考			
				調 査 書 を 評 価 する	自 己 推 薦 書 を 評 価 する	学 修 計 画 書 を 評 価 する	レクチャー・ レクチャー レポートを 課する	グルーブワ ーク・ふりか えりレポート を課する	面接(口頭試 問を含む。)を 行う	実 技 を 課 する
看護学群 看護学類		× (※)	×	○	○	○	○	○	○	×
事業 構想学群	事業 プランニング学類	× (※)	×	○	○	○	○	○	○	×
	地域創生学類	× (※)	×	○	○	○	○	○	○	×
	価値創造 デザイン学類	× (※)	×	○	○	○	○	○	○	×
食産 業学群	食資源開発学類	× (※)	×	○	○	○	○	○	○	×
	フード マネジメント学類	× (※)	×	○	○	○	○	○	○	×

※ 大学入試センター試験の受験：本学入学後の指導の参考とするため、本学が指定する平成31年度大学入試センター試験科目を受験し、自己採点結果を指定の期日までに報告する必要があります。

4 試験会場

(1) 宮城大学

本学の入学者選抜試験は、下記のいずれかの会場で実施することを予定しています。

〔大和キャンパス〕

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

〔太白キャンパス〕

宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号

※ 志望する学群のキャンパスが試験会場になるとは限りません。また、都合により変更される場合もありますので、試験会場については、必ず、各試験の募集要項及び試験前に送付される受験票を確認してください。

(2) 学外試験場

本学の一般選抜前期日程の事業構想学群及び食産業学群については、上記(1)に加えて学外試験場として大宮会場を設置します。

〔大宮会場〕

会議D o ! 大宮サポートセンター

埼玉県さいたま市大宮区 吉敷町1丁目5 K1ビル

5 学類配属について

入学者選抜試験は、種別に応じ学群単位又は学類単位で行います。

試験の種別によって学類配属の決定時期が異なりますので、次の表で確認してください。

試験の種別	試験の単位	学類配属の決定時期
一般選抜 推薦入試 帰国子女入試 社会人入試	学群単位	2年次進級時に学類の配属を決定（※）
AO入試 外国人留学生入試	学類単位	入学時に学類の配属を決定

なお、学類配属については、大学案内パンフレット2019等をご覧ください。

（※ 看護学群は単一学類のため、入学後の学類配属は行いません。）

6 入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学へ出願を希望する方は、下記の期間内に「宮城大学入学資格審査実施要項」に基づく資格審査を受け、認定を受ける必要があります。（高等学校等を卒業した方や卒業見込みの方等は審査の必要はありません。詳細については、宮城大学アドミッションセンター（022-377-8333）までお問い合わせください。）

試験の種別	入学資格審査期日	審査結果の通知日
AO入試	平成30年7月17日（火）から 平成30年7月27日（金）まで	平成30年8月24日（金）まで
社会人入試	平成30年8月20日（月）から 平成30年8月31日（金）まで	平成30年9月21日（金）まで
一般選抜		

Ⅲ 一般選抜方法

本学は、「分離分割方式（前期日程・後期日程）」により個別学力検査等を実施します。

本学の一般選抜前期日程と後期日程の併願は可能です。

なお、他の国公立大学との併願については、「前期－前期」、「後期－後期」など、併願できない組み合わせがありますので注意してください。

1 出願資格

本学に入学を志願する方は、次のいずれかに該当し、かつ平成31年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、各学群の指定する教科・科目をすべて受験した方とします。

- (1) 高等学校を卒業した方又は平成31年3月に卒業見込みの方
- (2) 中等教育学校を卒業した方又は平成31年3月に卒業見込みの方
- (3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方又は平成31年3月に修了見込みの方
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条（第6号を除く。）の規定に基づき高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方又は平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの方

2 入学者選抜方法

(1) 個別学力検査等の期日・時間割（予定）

看護学群

【1日目】 前期：平成31年2月25日(月) 後期：平成31年3月12日(火)	10:00～11:30	12:50～14:20
	論説	外国語
【2日目】 前期：平成31年2月26日(火) 後期：平成31年3月13日(水)	10:00～	
	面接（受験番号順）	

事業構想学群

前期：平成31年2月25日(月) 後期：平成31年3月12日(火)	10:00～11:30	12:50～14:20	15:00～16:30
	論説	外国語	数学

食産業学群

前期：平成31年2月25日(月) 後期：平成31年3月12日(火)	12:50～14:20	15:00 ～ 17:25
	外国語	数学・理科

※ 数学・理科の検査時間145分のうち、解答時間は135分となります。

(2) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の利用教科・科目等

学群・学類名 及び入学定員等		学 力 検 査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		
学群	学類		教科	科目名	選択方法（科目が複数の場合）
看護 前期 48人 後期 10人	看護	前期 平成 31 年 2 月 25 日 2 月 26 日	国 語	「国語」	
			地 理 歴 史 公 民	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	地理歴史・公民から 1
		後期 平成 31 年 3 月 12 日 3 月 13 日	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	次の（1）又は（2）のいずれか （1）「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 から 2 かつ「物理」「化学」「生物」から 1(※ 1) （2）「物理」「化学」「生物」から 2 ※ 1 理科の科目選択においては、同一名称 を含む科目同士の選択を認める。
			数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学 A」 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学 B」	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学 A」から 1 かつ 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学 B」から 1
			外 国 語	「英語（リスニングテストを含む。）」 （5教科 7 科目又は 5 教科 8 科目）	
事業構想 前期 100人 後期 20人	事業プランニング 地域創生 価値創造 デザイン	前期 平成 31 年 2 月 25 日	国 語	「国語」	
			地 理 歴 史 公 民	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	次の（1）から（4）までのいずれか （1）地理歴史・公民から 2 かつ「物理基 礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」か ら 2（※ 1） （2）地理歴史・公民から 2 かつ「物理」 「化学」「生物」「地学」から 1（※ 1） （3）地理歴史・公民から 1 かつ「物理基 礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」か ら 2 及び「物理」「化学」「生物」「地学」 から 1（※ 2） （4）地理歴史・公民から 1 かつ「物理」 「化学」「生物」「地学」から 2 ※ 1 公民の 2 科目選択は不可。 ※ 2 理科の科目選択においては、同一名称 を含む科目同士の選択を認める。
		後期 平成 31 年 3 月 12 日	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」	
			数 学	「数学Ⅰ・数学 A」「数学Ⅱ・数学 B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」	「数学Ⅰ・数学 A」かつ「数学Ⅱ・数学 B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」から 1
			外 国 語	「英語（リスニングテストを含む。）」 （5教科 7 科目、5 教科 8 科目、6 教科 7 科目又は 6 教科 8 科目）	
食産業 前期 62人 後期 12人	食資源開発 フードマ ネジメン ト	前期 平成 31 年 2 月 25 日	国 語	「国語」	
			地 理 歴 史 公 民	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	次の（1）から（4）までのいずれか （1）地理歴史・公民から 2 かつ「物理基 礎」「化学基礎」「生物基礎」から 2（※ 1） （2）地理歴史・公民から 2 かつ「物理」 「化学」「生物」から 1（※ 1） （3）地理歴史・公民から 1 かつ「物理基 礎」「化学基礎」「生物基礎」から 2 及び「物 理」「化学」「生物」から 1（※ 2） （4）地理歴史・公民から 1 かつ「物理」 「化学」「生物」から 2 ※ 1 公民の 2 科目選択は不可。 ※ 2 理科の科目選択においては、同一名称 を含む科目同士の選択を認める。
		後期 平成 31 年 3 月 12 日	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	
			数 学	「数学Ⅰ・数学 A」「数学Ⅱ・数学 B」	「数学Ⅰ・数学 A」及び「数学Ⅱ・数学 B」
			外 国 語	「英語（リスニングテストを含む。）」 （5教科 7 科目、5 教科 8 科目、6 教科 7 科目又は 6 教科 8 科目）	

注) 1 事業構想学群と食産業学群は「学類」ごとの選抜ではなく「学群」での選抜となります。

注) 2 食産業学群の募集人員において、個別学力検査の「数学・理科」の選択区分ごとの定員はありません。

				個別学力検査等				大学入試センター試験・個別学力検査等の配点									
				教科等	出題範囲等		検査時間	試験の区分		国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	論説	面接
				外国語	「英語」 ※「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」 「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」から出題する。		90分	前期	センター試験	200	100		200	200	250		
									個別学力検査等						150	150	評定
				論説	「事象を論理的に考察する力」や「資料をもとに科学的に読み解く力」等を多角的に評価する。		90分	後期	センター試験	100	50		100	100	125		
									個別学力検査等						150	150	評定
				面接	個別面接		15分										
				外国語	「英語」 ※「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」 「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」から出題する。		90分	前期	センター試験	200	300		200	250			
				数学	「数学」 ※「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の全範囲から出題する。 ただし、「数学A」は「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」の3項目の内容のうち2項目以上を、「数学B」は「数列」「ベクトル」「確率分布と統計的な推測」の3項目の内容のうち2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答できるようにする。		90分	前期	個別学力検査等					100	100	100	
								後期	センター試験	100	150		100	125			
									個別学力検査等					100	100	100	
				論説	「事象を論理的に考察する力」や「資料をもとに科学的に読み解く力」等を多角的に評価する。		90分										
				外国語	「英語」 ※「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」 「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」から出題する。		90分	前期	センター試験	200	300		200	250			
				A区分 数学重視	「数学」 ※「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の全範囲から出題する。 ただし、「数学A」は「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」の3項目の内容のうち2項目以上を、「数学B」は「数列」「ベクトル」「確率分布と統計的な推測」の3項目の内容のうち2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答できるようにする。		90分	前期	個別学力検査等				50 (A区分) 100 (B区分)	100 (A区分) 50 (B区分)	100		
					「理科」 「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 } から2 ※ 各科目とも、全範囲から出題する。		45分		センター試験	100	150		100	125			
					B区分 理科重視	「数学」 ※「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の全範囲から出題する。 ただし、「数学A」は「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」の3項目の内容のうち2項目以上を、「数学B」は「数列」「ベクトル」「確率分布と統計的な推測」の3項目の内容のうち2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答できるようにする。		45分	後期	個別学力検査等				50 (A区分) 100 (B区分)	100 (A区分) 50 (B区分)	100	
				「理科」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 } から1 ※ 各科目とも、全範囲から出題する。		90分											

注) 3 食産業学群の個別学力検査のうち「数学・理科」の検査時間は、「数学」と「理科」の間に答案回収等を行うために必要な時間(10分間)を加えた145分となります。なお、この10分間はトイレ等で一時退出することはできません。

〔 個別学力検査等に係る注意事項 〕

- ・食産業学群の「数学・理科」については、出願時にA区分又はB区分を選択することになります。このうち「理科」については、解答する科目を試験会場で選択するものとします。

〔 大学入試センター試験の利用教科・科目の注意事項 〕

① 看護学群

- ・外国語において、英語はリスニングテストを含みます。
- ・理科において、基礎を付した科目は2科目の合計点を1科目の得点とみなします。
- ・「地理歴史・公民」を2科目受験した場合は、高い方の得点を合否判定に用います。

② 事業構想学群及び食産業学群

- ・外国語において、英語はリスニングテストを含みます。
- ・理科において、基礎を付した科目は2科目の合計点を1科目の得点とみなします。
- ・「理科」を2科目（基礎を付した2科目、基礎を付さない1科目を受験した場合を含む。）、「地理歴史・公民」を2科目受験した場合は、得点の高い順に3科目の得点を合否判定に用います。

（3）合格者の決定方法

① 看護学群

入学者の選抜は、大学入試センター試験、外国語及び論説の成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いた教科において、得点のない教科があった場合は合格者とはなりません。また、面接の評価が一定の基準に達しない場合も、上記と同様、合格者とはなりません。

② 事業構想学群

入学者の選抜は、大学入試センター試験、外国語、数学及び論説の成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いた教科において、得点のない教科があった場合は合格者とはなりません。

③ 食産業学群

入学者の選抜は、大学入試センター試験、外国語、数学及び理科の成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いた教科において、得点のない教科があった場合は合格者とはなりません。

IV 特別選抜方法

1 アドミッション・オフィス入試（AO入試）

実施学群・学類名	看護学群	事業構想学群			食産業学群	
	看護学類	事業 プランニング 学類	地域創生 学類	価値創造 デザイン学類	食資源開発 学類	フード マネジメント 学類
募 集 人 員	8 人	8 人	8 人	8 人	8 人	8 人
出 願 資 格	平成 8 年 4 月 2 日以後に出生し、かつ次の(1)から(4)までのいずれかに該当する方で、志望する学類に対し熱意と適性を有し、合格した場合には必ず入学することを確約できる方とします。 (1) 高等学校を卒業した方又は平成 3 1 年 3 月に卒業見込みの方 (2) 中等教育学校を卒業した方又は平成 3 1 年 3 月に卒業見込みの方 (3) 通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した方又は平成 3 1 年 3 月に修了見込みの方 (4) 学校教育法施行規則（昭和 2 2 年文部省令第 1 1 号）第 1 5 0 条（第 6 号を除く。）の規定に基づき高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方又は平成 3 1 年 3 月 3 1 日までにこれに該当する見込みの方					
選 抜 方 法 等	第 1 次選考：自己推薦書、学修計画書、調査書により選考を行います。 第 2 次選考：第 1 次選考に合格した方に対して、2 日間の活動（レクチャー・レクチャーレポート、グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）等）を評価した成績、調査書及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。					
出 願 期 間	平成 3 0 年 9 月 1 4 日（金）～平成 3 0 年 9 月 2 1 日（金）					
選 抜 期 日	第 2 次選考：平成 3 0 年 1 0 月 2 0 日（土）、2 1 日（日）					
合 格 発 表 日	第 1 次選考：平成 3 0 年 1 0 月 5 日（金） 第 2 次選考：平成 3 0 年 1 1 月 2 日（金）					
そ の 他	○大学入試センター試験の受験 本学入学後の指導の参考とするため、平成 3 1 年度大学入試センター試験における下記の教科・科目を受験し、自己採点結果を指定の期日までに報告する必要があります。 国 語：「国語」 地理歴史・公民：「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から 1 理 科：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から 2 又は「物理」「化学」「生物」「地学」から 1 数 学：「数学 I」「数学 I・数学 A」から 1 かつ「数学 II」「数学 II・数学 B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から 1 外国語：「英語（リスニングテストを含む。）」 ○併願について 本学の一般選抜や推薦入試との併願ができます。					

2 推薦入試

実 施 学 群 名	看護学群	事業構想学群	食産業学群														
募 集 人 員	2 4 人	4 0 人	2 8 人														
出 願 資 格	平成31年度大学入試センター試験のうち指定する教科・科目をすべて受験し、次の(1)から(4)までのすべてに該当する方とします。 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月に卒業見込みの方 (2) 志望する学群に対し、熱意と適性を有する方で、高等学校又は中等教育学校の長が責任を持って推薦できる方 (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる方 (4) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の方で、人物、学力とも特に優秀である方																
選 抜 方 法 等	平成31年度大学入試センター試験において、以下に指定する教科・科目の合計点が本学の基準得点以上であった方の中から、学群毎に調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類の内容及び面接（口頭試問を含む。）の成績を総合的に判定して行います。 ○大学入試センター試験の利用教科・科目 <table><tr><td>教科</td><td>国語</td><td>地理歴史・公民</td><td>理科</td><td>数学</td><td>外国語</td><td>合計</td></tr><tr><td>配点</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>250</td><td>850</td></tr></table> 国 語 ：「国語」 地理歴史・公民：「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1 理 科 ：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2 又は 「物理」「化学」「生物」「地学」から1 数 学 ：「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」から1 かつ 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1 外国語 ：「英語（リスニングテストを含む。）」 ○本学の基準得点 平成31年度入試における本学の基準得点は、利用科目の合計点で476点（56%の得点率）とします。ただし、基準得点以上の者の数が募集人員に満たない場合は、基準得点を下げることがあります。			教科	国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語	合計	配点	200	100	100	200	250	850
教科	国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語	合計											
配点	200	100	100	200	250	850											
出 願 期 間	平成30年12月17日（月）～平成30年12月21日（金）																
選 抜 期 日	平成31年 2月 2日（土）																
合 格 発 表 日	平成31年 2月12日（火）																

推 薦 人 数	【看護学群】 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校から1校あたり2人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校から1校あたり1人とします。 ただし、衛生看護科又は看護科を有する学校については、宮城県内の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から2人まで、その他の科から2人までの計4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から1人、その他の科から1人の計2人までを各々推薦できるものとします。 なお、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった方に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については2人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については1人まで加えることができるものとします。 この場合にあっても、当該廃止した高等学校が衛生看護科又は看護科を有する場合、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については当該科から2人まで、その他の科から2人までの計4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については当該科から1人、その他の科から1人の計2人までを各々推薦できるものとします。 【事業構想学群・食産業学群】 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり各学群4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり各学群2人までとします。 また、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった方に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については各学群4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については各学群2人まで加えることができるものとします。
そ の 他	○本学の一般選抜やAO入試との併願ができます。 ○本学以外の国公立大学の推薦入試との併願はできません。

3 帰国子女入試

実施学群名	看護学群	事業構想学群	食産業学群
募集人員	若干名	若干名	若干名
出願資格	日本国籍を有し、保護者の海外勤務等の事情により海外において外国の学校教育を受けている方のうち、次の(1)から(3)までのいずれかに該当する方とします。 (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業（修了）した方又は卒業（修了）見込みの方 (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校又は中等教育学校の最終学年に編入学を認められた方で、平成31年3月に卒業見込みの方 (3) 平成13年4月1日以前に出生し、次に掲げるもののうち、いずれか1つ以上を平成29年又は平成30年に外国において授与された方 ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局からの国際バカロレア資格証書 ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格証明書「一般的大学入学資格証明書」 ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格証明書 (注) (1)及び(2)において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した期間は、海外において外国の学校教育を受けたものとはみなしません。		
選抜方法等	日本語による論説、面接（口頭試問を含む。）及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。		
出願期間	平成30年11月 5日（月）～平成30年11月12日（月）		
選抜期日	平成30年12月 8日（土）		
合格発表日	平成30年12月20日（木）		

4 社会人入試

実施学群名	看護学群	事業構想学群	食産業学群
募集人員	若干名	若干名	若干名
出願資格	平成8年4月1日以前に出生し、出願日において、社会人（家事従事者を含みます。）である方で、次の(1)から(3)までのいずれかに該当する方とします。 なお、特に各学群のカリキュラムに関連の深い職業に従事している方、その経験を有する方又は本学卒業後これらの職業に従事しようとする方の出願を希望します。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した方 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方 (3) 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定に基づき、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方		
選抜方法等	論説、面接（口頭試問を含む。）及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。		
出願期間	平成30年11月 5日（月）～平成30年11月12日（月）		
選抜期日	平成30年12月 8日（土）		
合格発表日	平成30年12月20日（木）		

5 外国人留学生入試

実施学群・学類名	看護学群		事業構想学群			食産業学群	
	看護学類	事業 プランニング 学類	地域創生 学類	価値創造 デザイン学類	食資源開発 学類	フード マネジメント 学類	
募 集 人 員	5 人	5 人	5 人	6 人	3 人	4 人	
出 願 資 格	独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成30年度（2018年度）日本留学試験（第1回又は第2回）において、下記の試験教科を受験している日本の国籍を有しない方で、次のいずれかに該当する方とします。 (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した方若しくは平成31年3月に修了見込みの方又はこれらに準ずる方で文部科学大臣の指定した方 (2) 平成13年（2001年）4月1日以前に出生し、次に掲げるもののうち、いずれか1つ以上を平成29年又は平成30年に外国において授与された方 ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局からの国際バカロレア資格証書 ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格証明書「一般的大学入学資格証明書」 ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格証明書 (注) 日本の国籍を有しない方であっても、日本の永住許可を得ている方は、出願できません。						
日本留学試験において受験を要する教科 （出題言語はすべての教科とも日本語とします）	看護学群	看護学類	○日本語 ○理科（化学及び生物を受験してください。） ○数学（コースの指定はありません。コース1又はコース2のどちらかを選択して受験してください。）				
		事業構想学群	事業プランニング学類	○日本語 ○総合科目 ○数学（コースの指定はありません。コース1又はコース2のどちらかを選択して受験してください。）			
	地域創生学類						
	価値創造デザイン学類		○日本語 ○理科（科目の指定はありません。2科目を選択して受験してください。） ○数学（コースの指定はありません。コース1又はコース2のどちらかを選択して受験してください。）				
	食産業学群	食資源開発学類	○日本語 ○理科（科目の指定はありません。2科目を選択して受験してください。） ○数学（コースの指定はありません。コース1又はコース2のどちらかを選択して受験してください。）				
		フードマネジメント学類					
選 抜 方 法 等	日本留学試験の成績、日本語による論説、面接（口頭試問を含む。）及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。						
出 願 期 間	平成30年11月 5日（月）～平成30年11月12日（月）						
選 抜 期 日	平成30年12月 8日（土）						
合 格 発 表 日	平成31年 1月10日（木）						

V 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談

本学では、障がい等を有する等、特別の配慮を要する方が、受験及び修学上不利になることがないように、必要な配慮を行っており、そのための事前相談を受け付けています。

1 相談方法

- ・志願者本人又は保護者から、受験及び修学上配慮が必要な事項について相談してください。
- ・必要に応じて、志願者又はその立場を代弁しうる保護者や出身学校関係者等との面談等を行うこともあります。

2 事前相談期限

AO 入試	．．．．．	平成30年 8月24日（金）
帰国子女・社会人・外国人留学生入試	．．．．．	平成30年10月 9日（火）
推薦入試	．．．．．	平成30年11月19日（月）
一般選抜	．．．．．	平成30年12月18日（火）

※ 受験上の配慮については、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

なお、相談期限後に受験及び修学上の配慮が必要となった場合にも、必ず、下記3の連絡先に問い合わせてください。

3 連絡先

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

宮城大学 アドミッションセンター TEL：022-377-8333 ／ FAX：022-377-8282

Ⅵ 大学案内の請求方法

大学案内の請求方法や配布時期は、次のとおりです。(料金や配布時期は変更になる可能性があります。)

1 「テレメール」を利用して請求する

(1) 本学のウェブサイトから請求する場合

本学のウェブサイト (<http://www.myu.ac.jp/site/exam/seikyuu.html>) から  テレメールを利用して直接資料請求ができます。(料金後納)

(2) インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話) 又は電話で請求する場合

① 下記のいずれかの方法で テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	http://telemail.jp ※パソコン・スマートフォン・携帯電話各社共通アドレス	スマートフォン・携帯電話等でバーコードを読み取り、アクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。 
自動音声応答電話	IP 電話 050-8601-0101 (24 時間受付) ※IP 電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも 3 分毎に約 12 円です。	

② 資料の資料請求番号 (6 桁) を入力 (インターネットの場合) 又はプッシュ (自動音声応答電話の場合) してください。

資 料 名	資料請求番号	送料 (予定)	発送開始日 (予定)
大学案内	560782	215 円	平成 30 年 5 月 30 日

③ あとはガイダンスに従って必要事項を登録してください。

※ (1) (2) に関する注意事項

- ・ 随時発送中の表示があるものは、受付から 1～2 日程で発送されます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては 3 日以上かかる場合もあります。なお、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その日以降は随時発送対象となります。
- ・ 料金は、お届けした資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従いお支払いください。
- ・ お支払い方法は「コンビニ支払い」「ゆうちょ銀行・郵便局での払込み」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1 回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
- ・ 支払いに際して手数料が別途必要になります。料金は資料の重量により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

1 「テレメール」の請求方法についてのお問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター
電話 050-8601-0102 (受付時間 9:30～18:00)

2 「モバっちょ」を利用して請求する

- ① 携帯電話、スマートフォン、パソコンからアクセスしてください。

お急ぎの方は宅配便のご利用もできます。

「モバっちょ QR コード」



URL <http://djcm-mb.jp/myu3/>



- ② 資料名及び料金等

資料名	送料	発送開始日(予定)
大学案内	250 円	平成 30 年 5 月 30 日

イ) 請求時払い：携帯電話、スマートフォン、クレジットカードで支払いができます。

(支払手数料は別途 50 円必要です。)

ロ) 後払い：資料到着後、コンビニエンスストアでお支払いください。

(支払手数料は別途 126 円必要です。)

※携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合があります。その場合は「後払い」を選択してください。

※料金は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

2 「モバっちょ」についてのお問い合わせ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

電話 050-3540-5005 (受付時間 平日 10:00~18:00)

3 大学に直接請求する

- (1) 郵送で請求する場合

返信用封筒(角形2号封筒(A4判資料が入る大きさ)に下記に記載の送料分の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を記入)を下記請求先に送付してください。なお、郵送はゆうメールにて行います。その他の郵送方法をご希望の場合は、下記請求先にご連絡ください。

また、必ず大学に送付する封筒に大学案内請求と朱書きしてください。

例 「大学案内請求」 ←朱書き

資料名	送料(予定)
大学案内	215 円

【請求先】

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

宮城大学アドミッションセンター あて

電話 022-377-8333

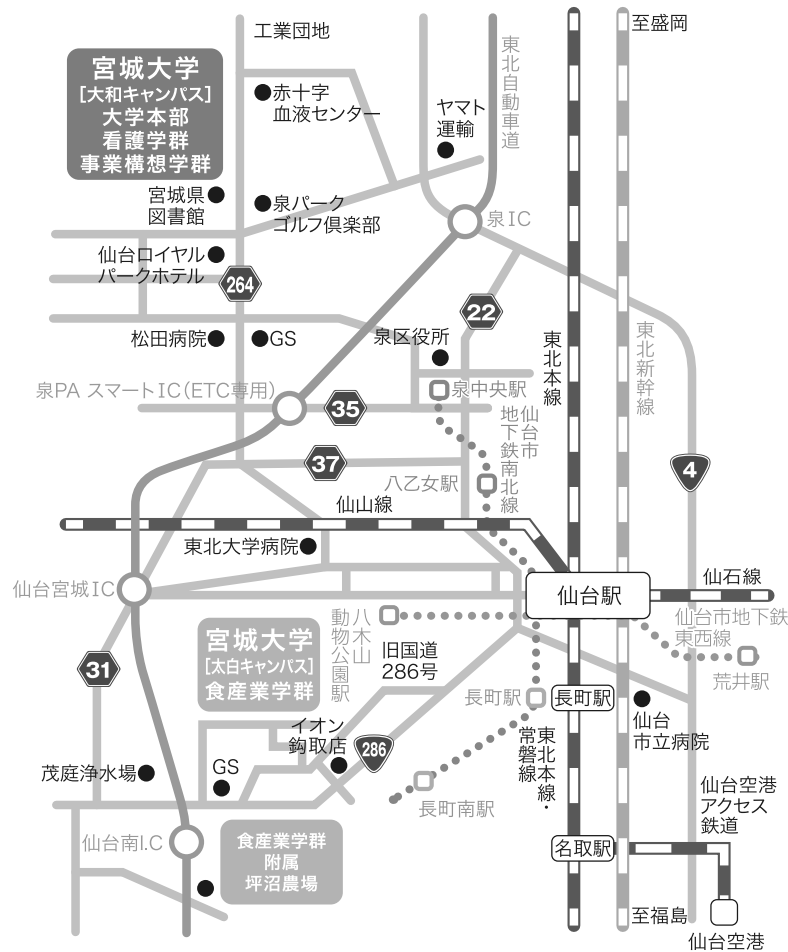
※送料は資料の重量により変更になる場合があります。請求の際は、必ず、本学ウェブサイトを確認してください。

- (2) 大学窓口で直接受け取る場合

大和キャンパス、太白キャンパスの各事務局窓口で直接受け取ることができます。

VII 各キャンパスの交通案内

※ 志望する学群のキャンパスが試験会場になるとは限りません。また、都合により変更される場合もありますので、試験会場については、必ず、各試験の募集要項及び試験前に送付される受験票を確認してください。



大和キャンパス | 看護学群 | 事業構想学群 | 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

＜仙台市地下鉄南北線＞

「仙台駅」から約15分、「泉中央駅」下車。バスに乗り換え

＜バス利用＞

- ・「泉中央駅」バスプール3番又は6番から、宮城交通バス「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）で約30～35分、「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車
- ・「仙台駅前」バスプール2番から、宮城交通バス「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」行きで約50分、「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車

太白キャンパス | 食産業学群 | 〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号

＜仙台市地下鉄南北線＞

「仙台駅」から約10分、「長町南駅」下車。バスに乗り換え

＜バス利用＞

- ・「長町南駅・太白区役所前」バスプール4番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約20分、「宮城大学食産業学部前」下車
- ・「仙台駅前」バスプール7番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約40分、「宮城大学食産業学部前」下車

入学者選抜に関する問い合わせ

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1

宮城大学 アドミッションセンター

TEL : 022-377-8333 / FAX : 022-377-8282